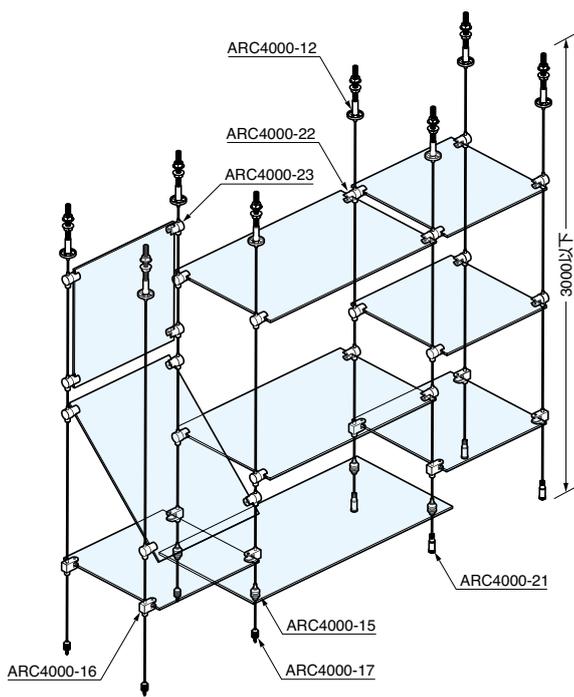


本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。

## ワイヤーディスプレイシステム

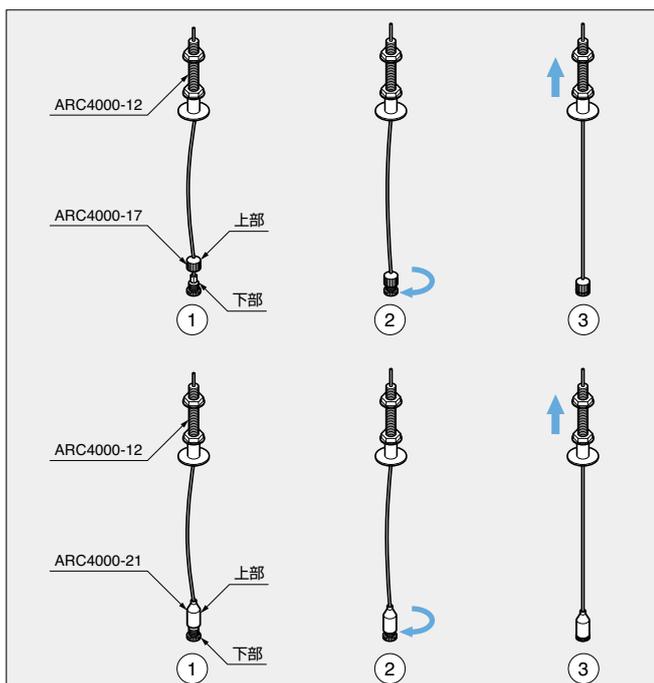
強化ガラス



各部品の詳細はP.414をご覧ください。

### ■ワイヤーの張り方

1. ARC4000-17 (または21) の上部と下部の締め込み代があるか確認をします。ワイヤーの長さが足りない場合は、ARC4000-12のボルトを少し下げてください。
2. ARC4000-17 (または21) の上部と下部を締め込みワイヤーを張ります。
3. ワイヤーがまだゆるい場合は、ARC4000-12のボルトを上げることでワイヤーをさらに張ることができます。



### ■特長

- ワイヤーとガラスによるディスプレイシステムです。
- 棚位置が自由に調整できお好みの棚を組めます。
- ワイヤーはφ2mmと細いので圧迫感がなく、オープンな空間を演出できます。

### ■注意

必ず床（地板）と天井（天板）にしっかりと固定してご使用ください。

ガラス厚	ガラス幅	ロッド4本の耐荷重 (ガラスを含む)		棚1枚の耐荷重	
		N	kgf	N	kgf
5~8	1500以下	392N	40kgf	117.6N	12kgf

### ■ガラス寸法計算式

- ワイヤーの中心とワイヤー中心の幅の距離を $X_1$ mmとし、ガラスの幅を $Y_1$ mmとすると

1. ARC4000-22またはARC4000-23を使用する場合のガラス幅を求める式は

$$Y_1 = X_1 - (16\text{mm} + 16\text{mm})$$

2. ARC4000-13またはARC4000-16を使用する場合のガラス幅を求める式は

$$Y_1 = X_1 - (11\text{mm} + 11\text{mm})$$

3. 片方にARC4000-22またはARC4000-23を使用し、もう一方にARC4000-13またはARC4000-16を使用した場合のガラス幅を求める式は

$$Y_1 = X_1 - (16\text{mm} + 11\text{mm})$$

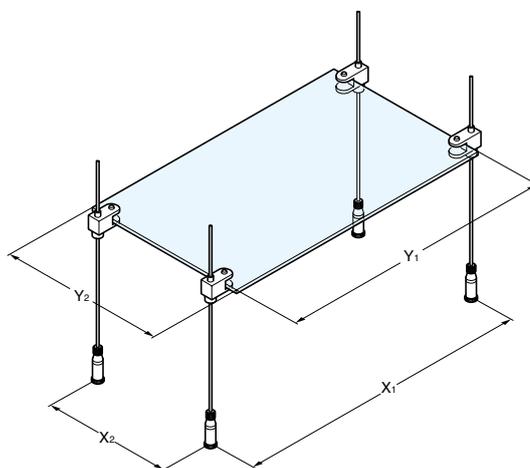
4. ARC4000-15を使用した場合のガラス幅を求める計算式は

$$Y_1 = X_1 + 22\text{mm} + 22\text{mm}$$

- ワイヤーの中心から中心の奥行き距離を $X_2$ mmとして、ガラスの奥行きを $Y_2$ mmとすると

$$Y_2 \geq X_2 + 22\text{mm}$$

ガラス奥行き $Y_2$ の計算式は、すべてのワイヤーロッドシステムの部品に適用されます。



輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。